

(町並み版)

※ (町並み版) とは...

プロフィールを作成した27箇所の歴史的資産周辺の景観特性をよりきめ細やかに把握するため、周辺を景観特性ごとにエリア区分し、そのエリアごとに、町並みの特徴や景観形成の方針、建築計画等に求める配慮事項などをまとめたものです。

1 京都御苑からの眺望景観

【周辺の特徴】

- ・京都御苑は市内中心部に位置しており、周辺の幹線道路沿道にはビルやホテルなどの中高層建築物が多く建つ。
- ・御苑内の高木等により周囲への視線はさえぎられるが、門の奥や樹木の間から、今出川通、烏丸通、丸太町通沿いの建築物が一部見える。



1-1 下立売御門から西への眺望
：菅原院天満宮神社と烏丸通沿いの中高層建築物が見える。



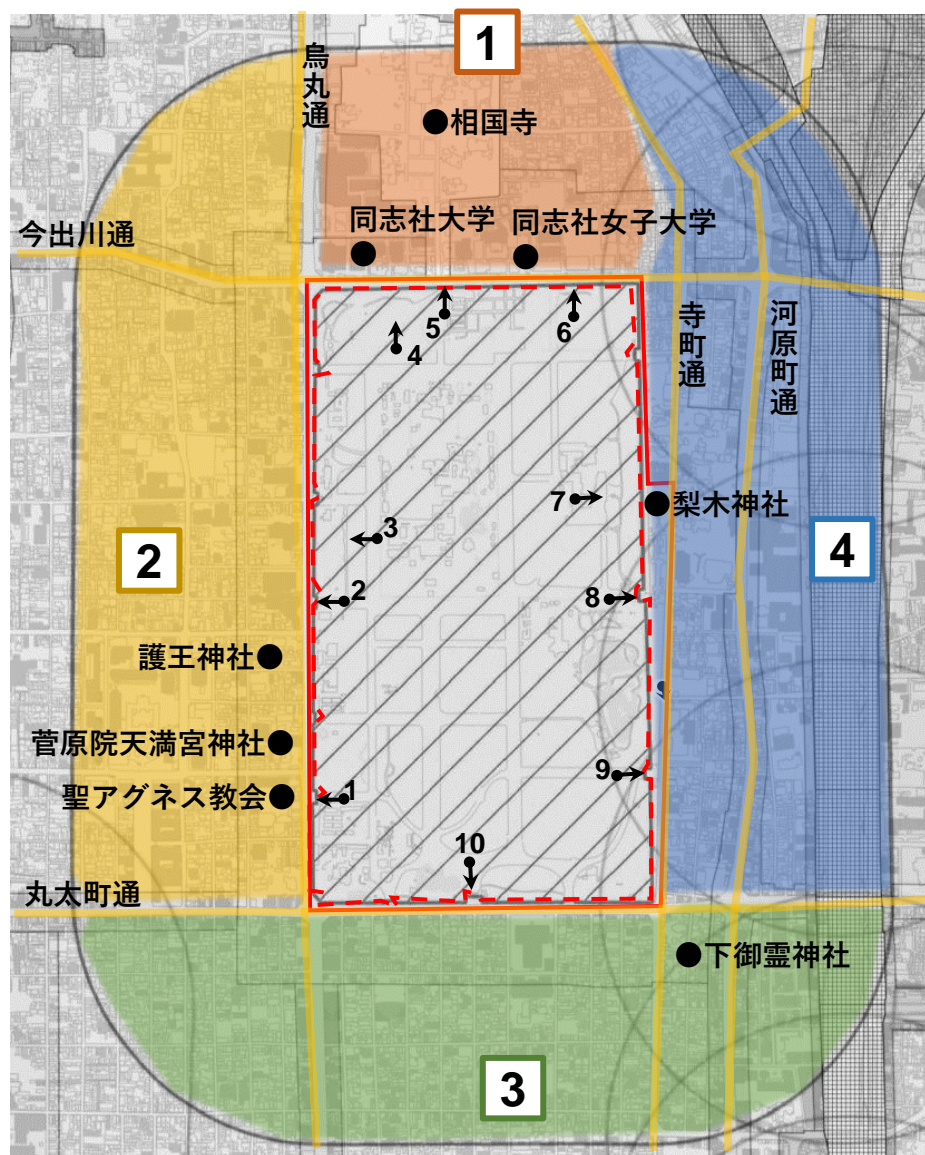
1-2 蛤御門から西への眺望
：烏丸通沿いの高層建築物が見える。



1-3 苑路から西への眺望
：苑内の樹木により周囲の建築物等は見えない。



1-4 苑路から北への眺望
：苑内の樹木の奥に同志社大学の校舎が見える。



--- 視点場（境内） — 視点場（参道等） — 主な通り



1-5 今出川御門から北への眺望
：相国寺の参道と同志社大学の校舎が見える。



1-6 今出川口から北への眺望
：苑内の樹木の奥に同志社女子大学の校舎が見える。



1-7 苑路から東への眺望
：苑内の樹木により周囲の建築物等は見えない。



1-8 清和院御門から東への眺望
：緑地帯の背後に高層建築物が見える。



1-9 寺町御門から東への眺望
：寺町通沿いの低層住宅と河原町通沿いの高層建築物の背後に東山を遠望できる。



1-10 堺町御門から南への眺望
：門と堀越しに丸太町通沿いの市街が遠望できる。

■ 2 京都御苑周辺の景観

【周辺の特徴】

- ・御苑周辺は幹線道路に囲まれており、その沿道のマンションやホテル、商店などの中高層建築物が多く立ち並ぶ。
- ・幹線道路沿道を含め御苑周辺の市街地では、現在も多くの寺社や町家など歴史的建築物等が残る。



2-1 寺町通の今出川から北への眺望
：京町家や和風住宅が立ち並ぶ。
北山が遠望できる。



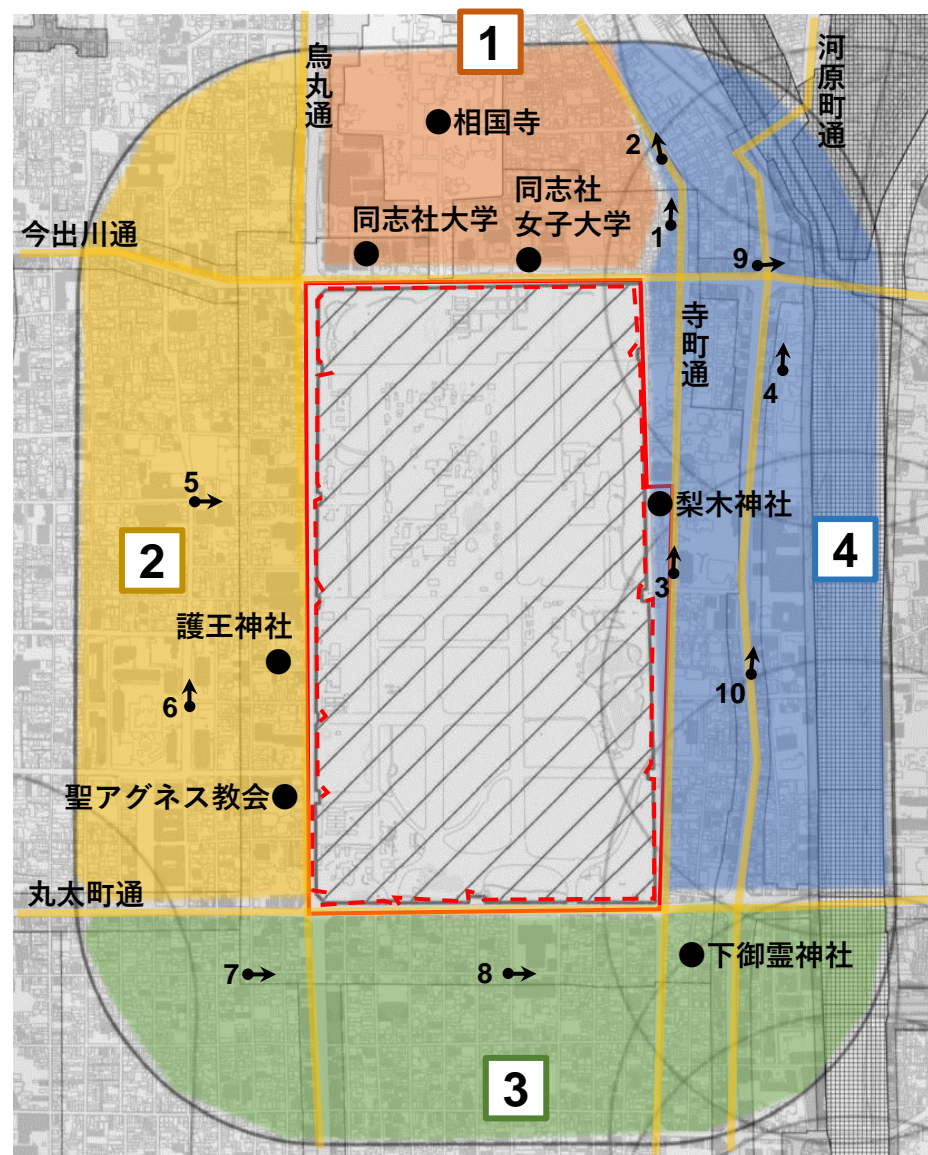
2-2 寺町通から北西への眺望
：本満寺や十念寺などの寺院が建ち並ぶ。



2-3 寺町通から北への眺望
：和風意匠のマンションや低層住宅
が立ち並ぶ。



2-4 梶井町から北への眺望
：大きな敷地割の近代建築物や
邸宅が立ち並ぶ。



--- 視点場 (境内) — 視点場 (参道等) — 主な通り



2-5 中立売通から東への眺望
：コミュニティ道路沿いに町家や公共施
設が立ち並ぶ。



2-6 新町通から北への眺望
：府庁や府警などの公共施設が立ち並ぶ。



2-7 室町竹屋町から東への眺望
：町家と中低層の建築物が混在している。



2-8 柳馬場竹屋町から東への眺望
：小学校や家庭裁判所が建ち並ぶ。



2-9 河原町通今出川から東への眺望
：沿道の中高層建築物の奥に
東山が遠望できる。



2-10 河原町通広小路周辺の眺望
：病院をはじめ、高層建築物が立ち並ぶ。

■ 3 京都御苑周辺の歴史的景観の特徴と建築計画への配慮事項

1 京都御苑北側			参考写真等	2 京都御苑西側			参考写真等				
ア エリアの歴史等	<ul style="list-style-type: none">・京都御所が当地に移転した明德期(1390-1394)以降に御所周辺地域は発展が進んだ。・明治9年(1876)に同志社英学校が旧薩摩藩邸跡に移転し校舎2棟が落成している(図3-1)。また、明治11年(1878)には旧二条殿跡に前年開設された同志社分校女紅場(現：同志社女子大学)の校舎が完成している。・大正期には、ほぼ現在と同じ風景となり、昭和初期には大学前に市電の停留所も完成している。・出町と呼ばれる地域は、江戸期から醸造業者や砂糖問屋などが存在したとされ、太平洋戦争以降に商店街として発展していった。				ア エリアの歴史等	<ul style="list-style-type: none">・平安京の烏丸小路は、現在の烏丸通にほぼ該当し、平安京左京東部を南北に走り全域が邸宅街であった。・室町期になると商工業の街として発展し、室町小路・町小路(新町通)とともに経済的豊かさを誇っていた。・江戸期の室町通には能関係者が多く居住していた。天正期以降、新町小路は新町通と改名され、商工業を中心に京都の目抜き通りであった。・烏丸通には明治45年(1912)に丸太町通から京都駅間に市電が敷設され、大正2年(1913)今出川通まで、同12年(1923)に植物園前まで延長された(図3-5)。					
	イ 町並みの特徴	<ul style="list-style-type: none">・エリア内には同志社大学、同志社女子大学とが大きく面積を占めている。同志社大学敷地内5棟が重要文化財とされており、明治期の近代化を象徴している。それらのレンガ建築が相国寺と並び、加え御所の緑となじんでいる。校舎建て替え時に行われた調査では公家町遺跡が発掘されている。・今出川烏丸角には、現存している公家住宅では最古である冷泉家住宅の土塀や門が今出川通の景観に特徴を与えている。・今出川河原町周辺には、町家と商店が混在している。 <p>文化財等：同志社彰栄館、礼拝堂、有終館、ハリス理化学館、クラーク記念館、冷泉家住宅、同志社アーモスト館、啓明館西館、啓明館本館、同志社女子大学栄光館、ジェームズ館、今出川通寺町東入表町(大原口)道標(史跡)</p>			イ 町並みの特徴	<ul style="list-style-type: none">・今出川通以北の市街地は、寺社や町家も多く残る落ち着いた住宅地となっている。・今出川通の烏丸通に近い場所では、飲食店や商業施設が多く立地している。・烏丸通沿いには、菅原院天満宮神社や教会、護王神社や、ホテル、能楽堂など、比較的規模の大きい建築物や社寺が立ち並ぶ落ち着いた雰囲気町の町並みを形成している。・烏丸通から西に入ると京町家も多く残されており、閑静な住宅地の趣きも見られる。・エリアの南部には、京都府庁を中心に、警察署や病院などの公共施設が集中的に立地している。 <p>文化財等：京都府庁旧本館、大聖寺、中村宗哲家住宅、平安女学院有栖館主屋・明治館・昭和館ほか、武者小路千家主屋ほか、大聖寺庭園(名勝)</p>					
ウ 景観形成方針	歴史遺産型美観地区	風致地区	 <p>3-2 今出川相国寺参道</p>  <p>3-3 冷泉家の門と土塀</p>	ウ 景観形成方針	歴史遺産型美観地区	旧市街地型美観地区	 <p>3-6 上長者町通の町並み</p>  <p>3-7 今出川通の町並み</p>  <p>3-8 釜座通の町並み</p>				
	同志社大学など格調ある建築物と手入れの行き届いた植栽、相国寺や梨木神社などの社寺の緑が、御所の緑と呼応して良好な景観を形成している。	相国寺の境内、参道、及び御所の緑が一体をなしており、東に東山連峰を望み、相国寺近傍は境内地や学校施設で構成され、緑豊かな落ち着いた環境を形成している。			御所地域一帯は、御所の緑が景観上重要な構成要素となっている。御所の周囲の格調ある建築物と手入れの行き届いた植栽、社寺の樹木や社叢と御所の緑が呼応して良好な景観を形成している。	近代建築物や寺院の堂宇が景観に重厚さを与えている。地域の各所から御所や相国寺等の豊かな緑を垣間見ることができる。こうした景観特性を継承する。					
エ 建築計画等に求める配慮事項	御所に面した敷地では、御所の緑と調和する生垣等植栽に特段の配慮をする。また道路に面する3階以上の壁面を1階壁面から後退させる。建築物については勾配屋根に日本瓦ぶき等和風意匠を採り入れ、風格ある景観形成を図る。			この環境の保全を図るため、相国寺境内では、境内の空間の確保や緑の保全に重点を置き、参道沿道では、緑景観の連続性の保全に重点を置く			エ 建築計画等に求める配慮事項	御所に面した敷地では、御所の緑と調和するよう生垣を設ける等植栽に特段の配慮をする。建築物は、勾配屋根に日本瓦ぶき等、和風意匠を採り入れ、風格ある景観形成を図る。今出川通、烏丸通の沿道では、周囲の歴史的資産や町並みに配慮し、かつ沿道の景観特性を生かして、良好な景観を形成する。		勾配屋根の和風基調の外観とし、落ち着いたきのある町並み景観を形成するとともに、御所や社寺の緑と調和するよう積極的に敷地内の緑化を図る。現代建築物は、周囲の歴史的建造物や京町家に調和した形態意匠とする。	

3 京都御苑南側		
ア エリアの歴史等	<ul style="list-style-type: none">・内裏・幕府を中心に政治中枢として公家・武家の集住が目立ち、その需要を満たす富有な商工業者が町並みを形成していた。・天正18年(1564)より豊臣秀吉による都市改造が断行され、本地域では「寺町」が造成され寺院街が建設された。また天正の地割と呼ばれる新たな道路の建設、およびそれにとまなう町割の変更も行われ、ほぼ現在の区画・道路幅となった(図3-9)。・明治34年(1901)に京都市電寺町線が寺町丸太町から出町青竜町間で、丸太町線が円町から熊野神社前間に開業した。	
イ 町並みの特徴	<ul style="list-style-type: none">・烏丸通や河原町通沿いには、中高層建築物が多く立ち並ぶ。しかし東西の通りを歩けば、現在も京町家が多く残る町並みを見ることができる。・夷川通は昭和に入って発展した地域だが、今でも職住一体型の町家や家具店が多く立ち並んでいる。・丸太町通沿いには京都地方裁判所のほか、中低層の商業ビルも立ち並んでいるが、御苑の石垣や緑が通りの景観を豊かなものにしている。・寺町通には下御霊神社や古美術店、紙や墨筆を扱う商店など、歴史を感じる建造物が立ち並んでいる。 <p>文化財等：旧京都中央電話局上分局、山本家住宅、西島家住宅、藤野家住宅、キンシ正宗堀野記念館(旧堀野家本宅)</p>	
ウ 景観形成方針	歴史遺産型美観地区	旧市街地型美観地区
	御所の緑が景観上重要な構成要素となっている。御所の周囲の格調ある建築物と手入れの行き届いた植栽、社寺の樹木や社叢と御所の緑が呼応して良好な景観を形成している。	近代建築物や寺院の堂宇が景観に重厚さを与えている。地域の各所から御所や相国寺等の豊かな緑を垣間見ることができる。こうした景観特性を継承する。
工 求める配慮事項	御所に面した敷地では、御所の緑と調和するよう生垣を設ける等植栽に特段の配慮をする。建築物については、勾配屋根に日本瓦ぶき等、和風意匠を採り入れ、風格ある景観形成を図る。烏丸通や丸太町通の沿道では、周囲の歴史的資産や町並みに配慮し、かつ沿道の景観特性を生かして、良好な景観を形成する。	

参考写真等

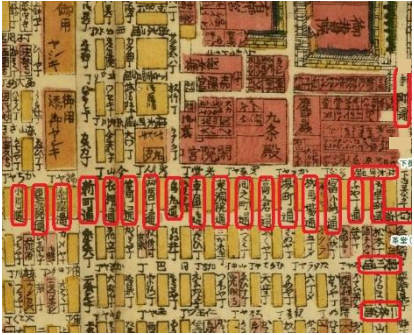
西洞院通↓

新町通↓


烏丸通↓

堺町通↓


寺町通↓



3-9 「大成京細見繪圖 洛中洛外町々小名」慶應2年(1868)



3-10 麩屋町通の町並み



3-11 寺町通の町並み

4 京都御苑東側			
ア エリアの歴史等	<ul style="list-style-type: none">・寺町通は、平安京の東京極大路にほぼ該当し、京極学区や下京区京極町などにその名を留めている。・中世では公家や武家の邸宅群であった。豊臣秀吉の京都改造政策により、洛中の寺院を移転し「寺町」を形成した(図3-12)が、江戸期の大火や戦乱で再び数多くの寺院が移転した。・明治中期より路線建設が続いた京都市電の敷設工事は大正期に本地域に整備された。・出町は、江戸期から醸造業者や砂糖問屋などが存在したとされ、太平洋戦争以降に商店街として発展していった。		
イ 町並みの特徴	<ul style="list-style-type: none">・御苑と鴨川に挟まれ、自然と社寺、近代建築物が混在するエリアである。・丸太町通より北方の寺町通沿いには、新島会館や京都市歴史資料館のほか、梨木神社や蘆山寺、北側には清浄華院や円龍院などが立地している。今出川通の北側へと寺町通沿いには多くの社寺が立地し、豊臣秀吉の都市改造の名残が色濃く残っている。・河原町通以東の鴨川沿いには、京都府立医科大学病院をはじめ教育関連施設や公共施設、ホテルなどの大規模な中高層の建築物が立ち並んでいる。・鴨川沿いの梶井町の辺りには、聖ドミニコ学院等の近代建築物や北村美術館等の和風邸宅等が立ち並び、落ち着いた景観を形成している。・河原町通沿道には、比較的規模の大きい施設の合間に小規模な商店、住宅が立ち並ぶ市街地が広がっている。 <p>文化財等：北村美術館四君子苑、頼山陽書斎(山紫水明処)(史跡)</p>		
ウ 景観形成方針	歴史遺産型美観地区	旧市街地型美観地区	沿道型美観形成地区
	御所の周囲の建築物の緑や、社寺の樹木や社叢と御所の緑が呼応して良好な景観を形成している。	近代建築物や寺院の堂宇が景観に重厚さを与えている。地域の各所から御所や相国寺等の豊かな緑を垣間見ることができる。	歴史的市街地内の美観地区等に隣接する沿道は、周囲の良好な景観を分断することがないように、沿道の町並みの連続性と調和に配慮し、良好な景観を創出する。
工 求める配慮事項	御所の緑と調和するよう生垣を設ける等植栽に特段の配慮をする。建築物は、勾配屋根に日本瓦ぶき等、和風意匠を採り入れる。	勾配屋根の和風基調の外観とし、落ち着いた町並み景観を形成するとともに、御所や社寺の緑と調和するよう積極的に敷地内の緑化を図る。	

参考写真等



3-12 「京大繪圖 新撰増補」貞享3年(1686)



3-13 寺町通の町並み



3-14 鴨川から西への眺望



3-15 梶井町の町並み

3-1 「京都區組明細圖改正新版」国際日本文化研究センター（<http://www.nichibun.ac.jp>）
3-5 「最新京都市街地圖 いろは引早わかり」国際日本文化研究センター（<http://www.nichibun.ac.jp>）
3-9 「大成京細見繪圖洛中洛外町々小名」国際日本文化研究センター（<http://www.nichibun.ac.jp>）
3-12 「京大繪圖 新撰増補」国立国会図書館デジタルコレクション（<https://dl.ndl.go.jp>）